

# <環境省>キャリア形成支援プログラム

日本全国8地区の高校生が集まった!

『環境省 キャリア形成支援プログラム』が開催されました!

2018年1月、環境省は高校生が環境事業を実践している企業を訪問し、将来の「キャリア形成」の参考になる研修プログラムを実施しました。

日頃から環境活動に励んでいる全国の高校生が、石坂産業株式会社(埼玉県)を訪問。視察を通してその広大な施設で行われている様々な取り組みを肌で感じ、社長の講話やワークショップでは各々の将来やこれからの環境活動について考える2日間を過ごしました。その様子をご紹介します。

**日 程:** 2018年1月13日(土)~14日(日)

**訪問先:** 石坂産業株式会社(埼玉県入間郡)

**参加者:** 8高校 高校生22名



全員で記念撮影

## プログラム 1日目

私たちの仕事は社会を支える根っこの大切な仕事です。

### ■到着~オリエンテーション

北は北海道、南は鹿児島から集結した高校生。1日目の会場に到着し、最初は緊張した雰囲気でしたが、オリエンテーションや自然の体験クイズなどを通して硬さがほぐれていきました。

### ■会社説明~施設見学

石坂産業株式会社の事業と取り組みについての説明の後、広大な施設を見学。工場内で様々な工夫が隔々まで施されている産業廃棄物処理の現場を視察。そのあと市民からも親しまれている工場敷地内の里山を歩いてまわりました。隔々まで行き届いた環境への配慮からは石坂産業の社員が誇りを持って働いていることが伺え、「ここで働きたい!」という高校生の声も聞こえてきました。

### ■石坂典子社長による環境研修~1日目終了

社長研修では、心に深く響く数々の話がありました。「誰もしたがない産業廃棄物処理の仕事だけれど、それは社会を支える根っこの大切な仕事です。」「みんなの家も、壊されると産業廃棄物になるって考えたことありますか?モノを作るということは、(未来の)ゴミをやることでもあるのです。」「モノを買うときは、それが最後にどう処理されるか、地球環境にダメージを与えない処理をされるのかまで考えることも大切なことなのです。」石坂社長の人生のストーリーと熱い想いがメンバーの心に迫ってきて、一気にワクワクしたエネルギーに包まれた会場。産業廃棄物処理業とはどういう仕事なのか、環境とどう向き合うのかを各々が深く考えさせられる時間となり、この日のプログラムは終了しました。



石坂産業 石坂典子社長



施設内での里山研修

## プログラム 2日目

### ■交流プラザでの研修

2日目の会場は施設内の交流プラザ。昔ながらの宮造り工法で建てられた、木の香りのする建物です。かつての養蜂農家の建物を修復して今の形になったとのこと。歴史のある会場で研修に臨みました。

### ■前日の振り返り、写真を用いたワークショップ

1日目の施設見学中に各自が撮影した写真全ての中から、「最も石坂産業らしさを表した1枚」を選ぶワークを行いました。グループで選んだベストショットとその理由をお互いに発表し合い、環境保全や自分の将来についての考えを深めていく高校生。笑い声と真剣な対話が混ざり合う、熱い雰囲気が場を包んでいました。会場を後にするのを惜しむ声も聞かれる中、プログラムは幕を閉じました。



交流プラザでの研修